

# SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：2016年 3月15日(火)

地域企業紹介 41

有限会社 光製作所

## 会社の成長は お客様を喜ばすこと

プレス加工、組立、金型設計・製作の有限会社光製作所の丸山裕司社長を綾瀬市の綾瀬工業団地内にある工場に訪ねました。丸山社長は1962年に埼玉県所沢市で生れ、横浜市鶴見にある横浜商科大学に進学。小さな頃から働くことが好きで、高校生の頃からアルバイトに精を出し、どんな職場でも一番のアルバイトだったそうだ。

大学在学中の20才の時、大手外食チェーンの創業時に学生アルバイトとして働き始める。仕事が好きで常に一番を目指す丸山さんは学生の枠を超えて懸命に働き、そんな仕事ぶりが買われ、大学卒業と同時に同社に入社する。新店オープニングスタッフとして全国を駆け回り、年間に10店舗のペースで新店をオープンさせていった。現地調査、スタッフの募集、採用、トレーニングを1ヶ月、開店から1ヶ月間は採用したスタッフをサポートしながら店頭立つ。オープニングスタッフがいなくなった1ヶ月後は新人のスタッフだけでやっていけるようにする。そこで学んだことは「男女、年齢、国籍を問わず、人に認められる事で、誰でもが成長できる」これが会社成長の源泉なのだという。その後、本社で上場準備にも携わるなど創業メンバーの一人として同社の急成長を支えた。

そして10年目で辞め、義父が経営する光製作所に入社する。初めの仕事はプレス部品の最終検査、次にワイヤーマシン加工、3か月後には納品で顧客回りを始め、少しずつお客さんから注文を取るようになる。当時は忙しかったので丸山さん自ら週末、プレス機を動かし、納期に間に合わせたことも度々あったそうだ。また、自社では経験の無い難しい仕事を取ってくることもあり、そんな時はあの手この手で現場の人たちの気持ちを刺激しながらやり遂げてもらったそうだ。前職でスタッフの資質を見極め、褒めて、育ててきた経験が生かされたのだろう。

仕事の8割を占めていた主要顧客の工場が海外移転したことにより仕事が激減し、苦しい時を迎えた。それを契機に社長就任を打診され、引き受けることになる。丸山社長40才の時だ。スタッフの大半が自分を支持してくれたことも心強かったそうだ。

(2面につづく)

有限会社 光製作所

代表取締役社長 丸山 裕司 (まるやま ゆうじ)

所在地 : 神奈川県綾瀬市深谷上8-21-17 (綾瀬工業団地内)

従業員数 : 60名 売上高 : 8億円

事業内容 : プレス加工・組立、金型設計・製作、治工具製作

社長就任と同時に「製造業はサービス業だ」というビジョンを掲げ、社内に新しい風を吹き入れた。また、大きく変えたことが3つある。生産、原価、在庫などの計数管理をパソコンで始めたこと。2つ目はリスクの高そうな新しい仕事をどんどん取りに行ったこと。それは、製造業の経験が無いため、怖さを知らなかったこととモノづくりはどんどん「カタチ」になって進化していく事で「できる」感覚に変わるのが楽しく、前向きだったからである。その結果、主要顧客1社に大きく依存していた状態から1社あたりの占有率を1割以下にした。3つ目は大量のプレス加工の仕事だけを追わず、少ロット多品種の仕事やアッセンブリーの仕事の割合を大きくしたこと。アッセンブリーまで手掛けることで全体の仕事量が増えると考えた。アッセンブリーを手掛けることで金属部品の加工を全部受注できる可能性が高まる。そして、それは、単に仕事量が増えることに止まらない。自社でアッセンブリーするから部品に必要とされる精度や勘所が分かるわけで、部品の形状や加工方法についてもいろいろ提案ができ、最終的には良いものを安く作れることになる。主要顧客のA社は工場を海外に移転させたため、国内にもものづくりの機能が無く、光製作所は新製品開発をサポートする試作工場の役割も担うようになっている。

また、今までは顧客から図面を渡された部品を製造するだけ

だったので何の製品になるのかわからなかったが、「これは俺たちが作った製品だ」といった達成感ややりがいをスタッフが感じるようになったことも大きい。今では大手メーカーから部品製造を伴わないアッセンブリーだけを受注することもあるそうだ。

スタッフの年齢は18才から81才まで。男性社員が15名。女性パートが約50名。女性たちのほとんどが外国人でブラジル、タイ、中国、ベトナム、ペルーからやってきた人たち。彼女たちはハングリーでロイヤリティーも高い。子どもや祖国にいる両親のために働く決心した女性は強く、頼もしい存在だと丸山さんという。

1社依存から脱却したこと、プレス加工だけではなくアッセンブリーを取り込んだこと、女性パートの積極的な活用でフレキシブルな生産体制を作ったこと、そんな取り組みが実を結び前社長から引き継ぐときと比べ売上は3倍に届く勢いだ。

最後に仕事の極意は何ですかと聞いてみた。「お客様を喜ばすこと」「お客様を喜ばすことをやり続ければ仕事と売上げはついてくる」と丸山さんという。お客様はもちろんのこと従業員、仕入れ先、取引先など全ての関係者を指しているのだろう。高校生アルバイト時代、外食産業時代、そして光製作所での経験から丸山さんが導いた結論なのだろう。これはサービス業、製造業の枠を超えた一つの真理ではないかと思う。そんな異業種出身社長の次の一手が楽しみだ。

# 無線を利用したM2M、IoTにチャレンジ

## 株式会社自動計測

自動計測等のシステム開発及びコンサルティング、半導体・液晶等に関するエンジニアリングサービス、電子計測コンサルティング等を行っている株式会社自動計測をご紹介します。

望月康平社長は、大学を卒業後、大手電子計測器のメーカーに就職。入社後、ICテスター開発エンジニアを担当し、その後、半導体ウェーハプロセスモニターの開発とシステムエンジニアを経験しますが、リーマンショックを機に会社を退職しました。これまで習得してきた技能を生かしチャレンジしようと思い、元同僚からのサポートも得て自動計測等のシステム開発・コンサルティング事業を軌道に乗せることが出来ました。

現在、以前在籍していた会社で担当していた製品の開発サポート・アプリケーション開発・エンドユーザー先への立ち上げサポートなどのコンサルティン

グ業務を主に行っており、特に、SEMIスタンダードに準拠した300mmウェーハ工場向け統合テスト環境を用いて、大手半導体メーカーにおける量産ラインのテスター環境の構築なども行なっています。

また最近では、マイコンや無線などを使ったIoT ( Internet of Things ) のための要素技術の習得や試作開発など、新たな自社開発製品の実現に向けて、積極的な取り組みも行っており、その一環として、昨年、一昨年とワイヤレス・アイデア・コンテスト(旧3Gシールドコンテスト)に応募し、2年連続して技術賞も受賞されました。

そして、NPO法人オープンワイヤレスアライアンス( <http://3gsa.org/> )にも会員メンバーとして所属し、最近では3GIM(3G通信モジュール)をベースに新たな取り組みも考えているようです。今後は、3G通信、GPSなどの無線を



望月社長



世界最小クラスの3G通信モジュール (GPS内蔵、アシストGPS機能対応) 3GIM V2.0 (株式会社タブレイン提供)

利用したM2M ( Machine to Machine ) やIoTにチャレンジしていきたいと望月社長は話されました。

株式会社自動計測  
SIC-3 3303号室  
<http://www.a-test.co.jp/>

# Hi friends! - Globalization in SIC -

ようこそ！世界の国からSICへ

(第5回)

グローバル化の波は世界中に及んでいます。日本企業にあっても海外進出はもちろんのこと社内公用語を英語にしたり、外国人を採用することも珍しくありません。SICに入居する企業にも外国の方々がたくさん働いています。このコーナーでは「Hi friends! Globalization in SIC」と題し、訪日されSICで活躍する方々を紹介します。

**CUNDRAGUMILANG**  
(チュンドラ グラミン)

株式会社CTC物流

インドネシア共和国  
from Republic of Indonesia

2010年 富士見MTBにて



## チュンドラさんの歴史を教えてください。

1983年10月11日、ジャワ島西部の都市バンドンで生まれました。大学はUNIVERSITY OF ISLAM BANDUNGへ入学、コミュニケーション学部マネジメントコミュニケーション学科で勉強しました。人生の中で必要不可欠なものの一つは、コミュニケーションです。“We Cannot Communicate Without Communication.”と言う諺もあります。まだまだ足りないと思っていますので、勉強は続けています。

2006年に卒業し、翌年、日本へ留学しました。日本に行く事が決まった時、両親は心配しましたが、日本は安全な国だと説得したところ、自分の判断に任せてくれました。

## 来日(留学)のきっかけは？

子どもの頃、日本のビデオを良く見ました。ドラえもん、聖闘士星矢、大戦隊ゴーグルV、宇宙刑事ギャバン、仮面ライダー等々。歳相応の日本のビデオを見ていましたが、大学生になってからは、日本へ行って勉強したいと思うようになりました。2007年来日し、静岡県国際こば学院で2年間、日本語を勉強しました。卒業後、静岡大学大学院農学部で環境哲学を勉強しました。研究テーマは、「日本の里山とインドネシアのKAMPUNG ADATにかかわるライフスタイル」です。

## 日本への印象や日本と母国の違いを教えてください。

初めて日本に来た時は、驚いて「こんな生活は無理だ！！インドネシアに早く戻りたい。」と思いました。何に驚いたかと言えば、全てが日本語だと言う事。食べ物から公共の乗り物など、言葉が通じないだけでなく、とにかく習慣と感覚が違いました。

具体的に例を挙げると、例えば環境に対する意識でしょうか。ゴミを捨てることでも「燃えるゴミと燃えないゴミ」の分別などはインドネシアではまだまだ意識が低いと思います。日本での色々な事が勉強になっています。

## 好きな食べ物と趣味は何ですか？

好きな食べ物は焼き肉やしゃぶしゃぶ、日本のカレーが好きです。趣味はサッカーとマウンテンバイク競技の一種「ダウンヒル」です。

## CTC物流入社経緯を教えてください。

大学院を卒業したら日本で就職を希望していました。人材派遣会社の紹介で、戸田社長とお会いしました。面談をさせて頂いた時、アジア諸国や東南アジアの国々での仕事の内容をお聞きし、自分にとっては本当に大きなチャンスだと思いました。

## CTC物流ではどんな仕事をしていますか？

海外営業部の仕事をしています。インドネシアの日系企業団地にあるインドネシア事業所の担当者です。ですので、日本に居るよりもインドネシアに居る期間の方が長いですね。

現在、製造メーカーにOEMガラスの供給・販売をしていますが、日本とインドネシアに係る企業があれば、お手伝いをさせていただきます。CTC Global Indonesiaはインドネシアでのローカル会社ですので、日系企業とは違い色々な業種に携わる事が出来ます。現在の事業をしながら、広く営業のお手伝いが出来ます。例えば  
事務・製造用品調達 / KITAS(一次滞在カード)ライセンスサービス  
インドネシア営業サポート / インドネシア国内手配サービス  
その他お客様の要求にお答えします 等々。

## 将来の夢または目標は

日本とインドネシアの架け橋になりたいと思っていました。これからも、更に大きな架け橋になりたいと思っています。

## 好きな言葉は？

「ガンバレ！」が大好きです。インドネシア語でも「SEMANGAT!!」(スマンガット!!)という言葉が好きです。どちらも同じ意味です。

株式会社CTC物流

代表取締役 戸田 眞一

社員：11名 創業：2005年

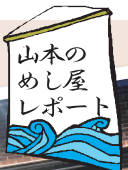
事業：製造メーカーにOEMガラスの供給、販売メーカーに補修用ガラスの供給、製造メーカーにOEM部品の供給、販売メーカーに補修用部品の供給、輸入ガラス及び商品の国内物流の管理等

## トラットリア&ピッツェリア Dai

Trattoria & Pizzeria Dai

小田急線町田駅徒歩3分にあるイタリアン「Dai」に行ってきました。町田で催されたイベントの帰りにSICスタッフ+SIC入居企業の社長さん計6名。店内の石窯で焼かれた美味しいピザ、エビのアヒージョ、子羊のロースト、美味しい赤ワイン三本を堪能。その日は店内満席のためオープンテラスで。ワインもお料理も手軽なお値段でとても美味しい。お友達どうぞ。

町田市森野1-34-2 鹿島屋ビル1F 電話:0428-60-6191  
営業時間:月~日11:00~24:00 (LO 23:00) 定休日 なし



## 新入社員&amp;フォローアップ研修のご案内

“みんなで研修”シリーズ

みんなで一人前の  
社会人になる研修。

4月。いよいよ若い力が始動します。始動とともにいろいろなことが変わります。授業料をはらう立場から給料をもらう立場へ。過程重視の勉強から結果重視の仕事へ。ヨコ中心の人間関係からタテとヨコの複雑な人間関係に。

私達は、これまでとは違う世界に戸惑いながらも「プラス思考で前向きに進もうとするマインドを育てたい!!」と強く願っています。若い力を躍動させるために、本研修をご活用ください。

- 開催日時 平成28年4月7日(木)~平成29年2月25日(土) 全5回
- 対象 平成28年4月入社の新入社員の方
- 受講料 98,000円 (消費税別)
- 会場 ユニコムプラザさがみはら
- お問い合わせ先 (株)さがみはら産業創造センター  
サガツクナビプロジェクト 担当:上野
- お申し込み方法  
受講申込書に、必要事項をご記入の上、E-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。  
E-Mail y-ueno@sic-sagamihara.jp / FAX 042-770-9077(代)

貴社について・・・貴社名、郵便番号、住所、業種、事業内容、従業員数  
ご担当者について・・・氏名、所属・役職、電話、FAX、E-Mail  
受講者について・・・氏名、所属予定部署の事業内容や人員構成など

※申込書は、ホームページよりダウンロードいただけます。

※ホームページにある申込フォームからお申し込みいただけます。

<http://www.sic-sagamihara.jp/>

## 2016.3 SIC EVENT CALENDER イベントカレンダー

4月7日(木)~平成29年2月25日(土)全5回  
みんなで一人前の社会人になる研修

6月19日(土)~平成29年2月11日(土)全11回  
SIC経営塾

## 入居企業を募集しています。

## SIC空室情報 (2016年3月15日現在)

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税別)
SIC-1 スモールオフィスB (17.3㎡) ※	1	47,600円
SIC-2 空室はありません	-	-
SIC-3 空室はありません	-	-

※5月より入室が可能です

2016  
塾生  
募集

「ニュービジネスリーダー」育成セミナー

SIC 経営塾

2016 SIC経営塾  
時代に打ち勝つ『経営力』が求められている

いつの時代においても、経営者に求められているのは、将来目指すべき方向も明確にし、多様な局面で適切な判断をし、社員や関係者を導く「経営力(リーダーシップ)」です。昨今の激変の時代にあって、景気の波に左右されない、時代に打ち勝つ経営力こそが、企業の成長の鍵となります。

本塾では、先端的な企業のケーススタディーを通じ、経営の理論と実践を学ぶとともに、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的としています。

## 講義

最先端の経営理論を学びます。

## 討論

塾生、コーディネータとの討議を重視します。

事業構想の  
再構築

最終ゴールは自社の事業構想の再構築です。

- 開催日時 平成28年6月~平成29年2月
- 会場 さがみはら産業創造センター(SIC-2)  
相模原市緑区西橋本5-4-30
- 募集人員 15名
- 対象 経営者または経営幹部
- 受講料 200,000円(税抜き・1泊2日の宿泊費用を含む)  
※受講料の割引制度があります。詳しくはお問い合わせください。
- 応募方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAX、またはHPよりお申し込みください。  
(申込書は、SICホームページよりダウンロードできます。)  
※FAXで応募する方は申込書をダウンロードし、ご使用ください。
- 問合せ先 株式会社さがみはら産業創造センター(担当:事業創造部)  
電話:042-770-9119 / FAX:042-770-9077

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

編集  
後記

今号の表紙を飾る丸山社長は、第34回南西フォーラム「日本のモノづくりが支える鉄道産業」でご講演いただきました。その中で話されていたことに、「挑戦とは一歩ではなく二歩踏み込むこと全重心を移せ」と言う言葉がありました。覚悟を決めろと言う事でしょうか。今年度も、SIC経営塾の募集を開始いたしました。新入社員研修も始まります。さあ今年度のスタートです。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を  
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>